

平成28年度



# 木津川市 決算のあらまし

## 木津川市の家計簿



### もくじ

はじめに	1
平成28年度 木津川市決算一覧	1
一般会計歳入決算の内訳は	2
一般会計歳出決算の内訳は	3
グラフでみる一般会計決算額の推移	5
平成28年度の主な事業	6
基金(貯金)の残高	11
市債(借金)や債務負担行為の残高	12
健全化判断比率の状況	13
都市計画税に関する事業	14
市民ひとりあたりの決算額	巻末

木津川市の財政状況を分かりやすく解説します。



木津川市マスコットキャラクター  
いづみ姫

# はじめに

## 決算とは？



©木津川市

地方公共団体は、住民のみなさんから納めていただいた税金などを財源として、いろいろな事務・事業（仕事）を行っています。年度の始まる前に仕事の計画とそれに必要な経費や財源について、1年間の収支計画である予算を作成しています。

年度が終わった後に住民のみなさんから納めていただいた税金など収入がいくらあったのか、あるいは計画したとおりに仕事のできたのか、いくら経費を使ったのかを明らかにしなければなりません。

このような1年間の収入と支出の実績を決算といいます。

市の決算は、予算が適正に執行されたかどうかを検証するための判断材料として、市民のみなさんや議会に提供することになります。

# 平成28年度 木津川市決算一覧

(単位：万円)

会計別		歳入	歳出	差引額	
一般会計		3,042,888	2,996,717	46,171	
特別会計	国民健康保険特別会計	802,365	782,516	19,849	
	後期高齢者医療特別会計	75,791	74,847	944	
	介護保険特別会計	438,179	419,869	18,310	
	公共下水道事業特別会計	183,746	165,733	18,013	
	簡易水道事業特別会計	15,158	14,520	638	
	旧北村旧兔並村旧里村財産区特別会計	327	294	33	
	旧加茂町財産区特別会計	120	79	41	
	旧瓶原村財産区特別会計	560	520	40	
	旧当尾村財産区特別会計	449	403	46	
	水道事業会計	収益的収支(税込み)	172,796	167,132	5,664
		資本的収支(税込み)	82,628	109,987	△ 27,359
特別会計小計		1,772,119	1,735,900	36,219	
合計		4,815,007	4,732,617	82,390	

※水道事業会計の収支不足分については、内部留保資金等で補っている。

※公共下水道事業特別会計については、地方公営企業法の財務規定適用に伴い、また簡易水道事業特別会計については、水道事業会計への統合に伴い、ともに平成29年3月31日付けで打ち切り決算としている。

## 一般会計と特別会計について

一般会計は、市の仕事の中でも基本的な経費（例えば福祉や教育、道路、公園などの整備、管理などに必要なお金）についての会計（財布）であり、市財政の基本となるものです。

特別会計は、特定の事業を行う場合に、特定の歳入が確保され、一般会計と区別する必要があるとき（区別した方が効率的な予算管理ができるときなど）に、法律や条例に基づいて設けられます。

この冊子では、一般会計の決算を中心に説明します。



©木津川市

# 一般会計歳入決算の内訳は

(単位：万円、%)

区 分	平成28年度 決算額	平成27年度 決算額	比 較	
			増減額	増減率
1 市税	952,518	923,414	29,104	3.2
2 地方譲与税	21,078	20,263	815	4.0
3 利子割交付金	1,674	2,700	△1,026	△38.0
4 配当割交付金	5,444	8,038	△2,594	△32.3
5 株式等譲渡所得割交付金	3,205	7,805	△4,600	△58.9
6 地方消費税交付金	110,936	120,404	△9,468	△7.9
うち税率引上げ分	53,011	57,609	△4,598	△8.0
7 ゴルフ場利用税交付金	8,156	7,870	286	3.6
8 自動車取得税交付金	6,804	5,957	847	14.2
9 地方特例交付金	9,011	8,097	914	11.3
10 地方交付税	559,968	579,780	△19,812	△3.4
11 交通安全対策特別交付金	768	727	41	5.6
12 分担金及び負担金	117,475	92,173	25,302	27.5
13 使用料及び手数料	57,173	46,507	10,666	22.9
14 国庫支出金	446,623	485,942	△39,319	△8.1
15 府支出金	193,573	164,598	28,975	17.6
16 財産収入	7,797	6,424	1,373	21.4
17 寄附金	2,071	62,146	△60,075	△96.7
18 繰入金	131,782	59,396	72,386	121.9
19 繰越金	60,211	65,637	△5,426	△8.3
20 諸収入	21,198	19,592	1,606	8.2
21 市債	325,423	371,532	△46,109	△12.4
歳入合計	3,042,888	3,059,002	△16,114	△0.5



©木津川市

平成28年度歳入の総額は304億2,888万円となり、前年度に比べて1億6,114万円、0.5%減少しました。

それでは、主な歳入を紹介します。

## ■市税

市民のみなさんから市に納めていただいた市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税で、95億2,518万円の収入がありました。市民税(個人市民税・法人市民税)は、人口増や総所得額の増加、一部企業の業績好調により、前年度に比べて8,117万円増加しました。また固定資産税においても、一部宅地の地価上昇や城山台地域内に新たな使用収益開始区域があったこと、新築家屋の増加や一部事業所の所有資産増加などによって、前年度に比べて1億8,074万円の増加となり、市税全体では前年度より増加しました。

## ■地方消費税交付金

市民のみなさんがお買い物をされたときなどにお支払いいただいた消費税のうち地方消費税について、人口や従業者数に応じて交付されるお金で、11億936万円の収入がありました。

なお、交付金のうち税率引上げ分5億3,011万円は、すべて社会保障施策に要する経費(高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉・母子福祉・生活保護・国民健康保険・介護保険・年金・医療・疾病予防・健康増進など)のために使いました。

## ■地方交付税

国税(所得税など)の一部から、地方公共団体間の財政力格差を調整するとともに、どの地域に住む住民にも一定の行政サービスを提供できるよう財源を保障するために交付されるお金です。地方交付税には、基準財政需要額(地方公共団体が標準的な行政を合理的水準で実施するときに必要な一般財源の額)から基準財政収入額(地方公共団体の標準的な税収入の一定割合により算出される額)を差し引いた額をもとに算定される普通交付税と、災害等特別の事情に応じて算定される特別交付税があります。

平成28年度の普通交付税においては、測定単位である国勢調査人口が平成22年度調査値から平成27年度調査値(速報値)へと置き換わるなどの増加要素がありましたが、合併算定替特例措置の逡減(詳しくはP14をご覧ください)による影響などにより、交付額としては前年度より1億8,443万円減の51億3,995万円となりました。

## ■国庫支出金

国が特定の事業などに対し交付する負担金や補助金などで、44億6,623万円の収入がありました。クリーンセンター整備事業費国庫交付金が増えたり、低所得の高齢者向け臨時福祉給付金事業に伴う国庫補助金および地方創生加速化交付金の交付などがあった一方で、地域住民生活等緊急支援のための交付金の全額減少や、義務教育施設整備事業に伴う国庫負担金が減ったことなどにより、前年度に比べて減少しました。

## ■寄附金

住民や公共の団体などが自発的な意思により地方公共団体に対して支出する寄附金のことで、ふるさと寄附金が増えたことや、集会所建設にかかる開発関連寄附金547万円の全額増加などがありましたが、クリーンセンター整備事業にかかる開発関連寄附金6億1,393万円の全額減少などにより、前年度に比べて大幅な減少となりました。

## ■繰入金

他の会計や基金などから受け入れるお金で、財源不足を補うために財政調整基金から4億1,018万円を、市債の繰上償還に要する財源とするために減債基金から1億4,822万円を、公共事業の推進を図るための財源として公共施設等整備基金から1億2,400万円を、それぞれ一般会計へ繰り入れたことなどにより、前年度に比べて大幅な増加となりました。

## ■市債

大規模な事業などを行うために長期にわたり借り入れるお金で、国や地方公共団体金融機関、民間金融機関から32億5,423万円を借り入れました。城山台小学校建設事業債や棚倉小学校校舎改築事業債をはじめとする義務教育施設整備事業に伴う教育債が減ったことなどにより、前年度に比べて減少しました。

# 一般会計歳出決算の内訳は

平成28年度歳出の総額は、299億6,717万円となり、前年度に比べて2,074万円、0.1%減少しました。

歳出には、議会費や消防費などのように目的別に表したものと、人件費や普通建設事業費などのように性質別に表したものがあります。



©木津川市

(目的別)

(単位：万円、%)

区 分	平成28年度 決算額	平成27年度 決算額	比 較	
			増減額	増減率
1 議会費	21,766	23,874	△2,108	△8.8
2 総務費	278,724	323,575	△44,851	△13.9
3 民生費	1,063,554	995,058	68,496	6.9
4 衛生費	572,946	455,289	117,657	25.8
5 農林水産業費	24,102	24,017	85	0.4
6 商工費	17,015	17,940	△925	△5.2
7 土木費	239,039	206,145	32,894	16.0
8 消防費	139,407	114,790	24,617	21.4
9 教育費	338,714	551,754	△213,040	△38.6
10 災害復旧費	1,769	3,486	△1,717	△49.3
11 公債費	299,681	282,863	16,818	5.9
歳 出 合 計	2,996,717	2,998,791	△2,074	△0.1

## ■総務費

市役所の全体的な管理事務や戸籍、統計、徴税、選挙などのために27億8,724万円を使いました。自治振興事業費や庁内LAN維持管理事業費が増えたこと、参議院議員選挙事業費の全額増加などがあった一方で、基金管理事業費やまち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業費が減ったこと、市長選挙及び市議会議員選挙事業費、国勢調査事業費の全額減少などにより、前年度に比べて大幅な減少となりました。

## ■民生費

市民福祉のために106億3,554万円を使いました。臨時福祉給付金関連事業費をはじめ、保育所入所委託事業費や生活保護費支給事業費、国民健康保険特別会計に対する繰入金(保健事業、地方単独事業分)、幼保連携型認定こども園(保育施設部分)施設整備に対する補助事業費などにより、前年度に比べて増加しました。

## ■衛生費

国民健康保険山城病院組合や相楽郡西部塵埃処理組合への負担金のほか、予防接種、がん検診、ごみ収集などのために57億2,946万円を使用しました。予防接種事業費をはじめ、墓地管理事業費やクリーンセンター整備事業費、きづがわスマートウエルネスシティプロジェクト事業費などにより、前年度に比べて大幅な増加となりました。

## ■教育費

義務教育などのために33億8,714万円を使用しました。幼保連携型認定こども園(教育施設部分)施設整備に対する補助事業費や新設学校給食センター建設事業費の全額増加などがあった一方、城山台小学校校舎等取得事業費や木津中学校校舎・屋体取得事業費の全額減少、史跡等買上事業費が減ったことなどにより、前年度に比べて大幅な減少となりました。

(性質別)

(単位：万円、%)

区 分	平成28年度 決算額	平成27年度 決算額	比 較		
			増減額	増減率	
1 人件費	415,727	419,670	△3,943	△0.9	
2 物件費	389,801	385,374	4,427	1.1	
3 維持補修費	27,906	26,598	1,308	4.9	
4 扶助費	555,808	520,003	35,805	6.9	
5 補助費等	365,909	375,719	△9,810	△2.6	
6 公債費	297,784	282,020	15,764	5.6	
7 積立金	48,214	101,898	△53,684	△52.7	
8 投資及び出資金	2,957	893	2,064	231.2	
9 繰出金	302,353	277,348	25,005	9.0	
10	普通建設事業費	587,105	603,968	△16,863	△2.8
	補助事業費	326,863	376,087	△49,224	△13.1
	単独事業費	260,242	227,881	32,361	14.2
11	災害復旧事業費	1,769	3,880	△2,111	△54.4
	補助事業費	226	3,303	△3,077	△93.2
	単独事業費	1,543	577	966	167.4
歳 出 合 計	2,995,333	2,997,371	△2,038	△0.1	

※地方財政状況調査に基づくため、平成28年度一般会計歳出決算額とは一致しません。

## ■扶助費

社会保障制度の一環として、各種法令などに基づいて支出される生活保護費、児童手当、医療費助成などに55億5,808万円を使用しました。臨時福祉給付金関連事業費をはじめ、障害福祉・障害児通所サービス事業費、児童手当・児童扶養手当などにより、前年度に比べて大幅な増加となりました。

## ■補助費等

各種負担金や団体への補助金などの経費で、36億5,909万円を使用しました。まち・ひと・しごと創生総合戦略によるふるさと応援事業補助金などが増えた一方で、地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用した事業費の全額減少や相楽郡広域事務組合および相楽郡西部塵埃処理組合に対する負担金が減ったことなどにより、前年度に比べて減少しました。

## ■公債費

市債の返済などに29億7,784万円を使用しました。市債の契約に基づく返済のほか、梅美台保育園完全民営化に伴う施設譲渡を行うために、施設整備時に借り入れた資金を繰上返済したことなどにより、前年度に比べて増加しました。

## ■積立金

基金(貯金)へ4億8,213万円を積み立てました。前年度に清掃センター建設整備基金に約6億円を元金積立したのが全額減少となったことや、財政調整基金や合併算定替減対策基金への積立金が減ったことなどにより、前年度に比べて大幅な減少となりました。

## ■繰出金

他会計などに30億2,353万円を支出しました。事業用地を先行取得するための土地開発基金への繰出金や、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計への繰出金などにより、前年度に比べて増加しました。

## ■普通建設事業費

公共施設の整備に58億7,105万円を使用しました。クリーンセンター整備事業費や防災行政無線整備事業費などが増えた一方で、城山台小学校校舎取得等事業費や城山台公園建設事業費、当尾の郷会館改修事業費の全額減少、棚倉小学校校舎改築事業費が減ったことなどにより、前年度に比べて減少しました。

# グラフでみる一般会計決算額の推移



©木津川市

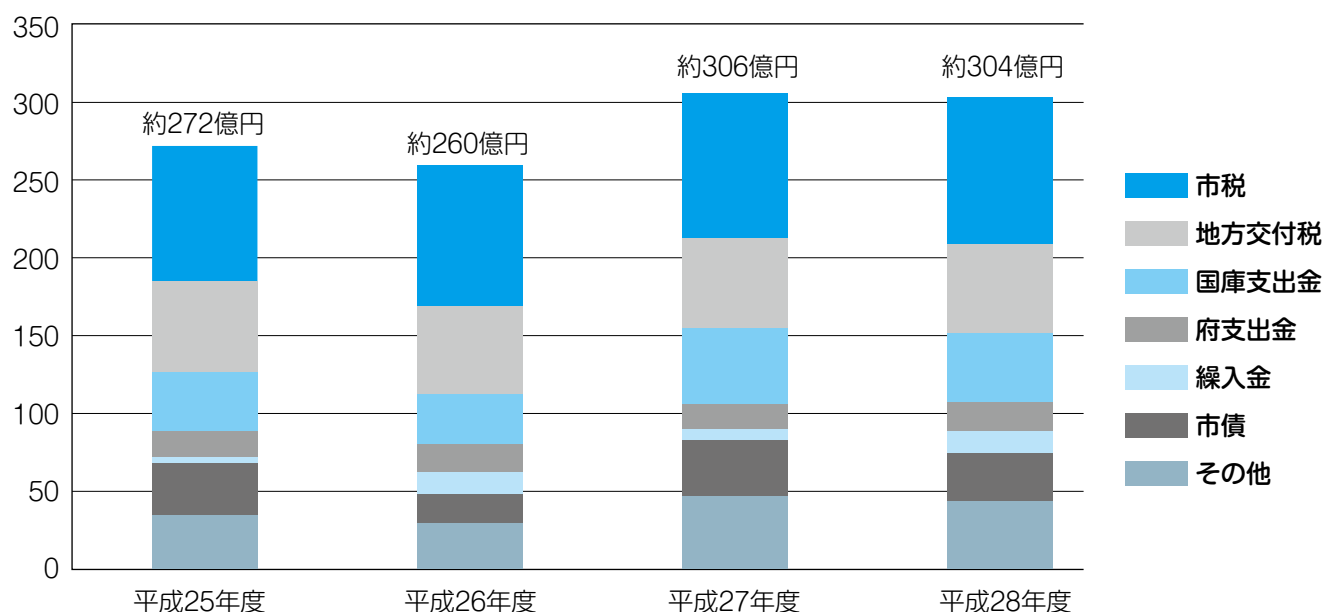
平成28年度の歳入決算額は304億2,888万円、歳出決算額（性質別）は299億5,333万円となり、合併後最大となった前年度に引き続き大きな決算規模となりました。

歳入では、市税が近年では増加傾向にあり、市債においても大型継続事業の進捗に伴い、年度末現在高が過去最大となりましたが、地方交付税や国庫補助金における大幅な減少により、決算額としては前年度をやや下回りました。

歳出では、とくに扶助費、物件費の増加が目立っており、普通建設事業費においてクリーンセンター整備事業費などが過去最大の単年度決算額となりましたが、普通建設事業費における義務教育施設の大規模事業費の大幅な減少などにより、決算額としては前年度をやや下回りました。

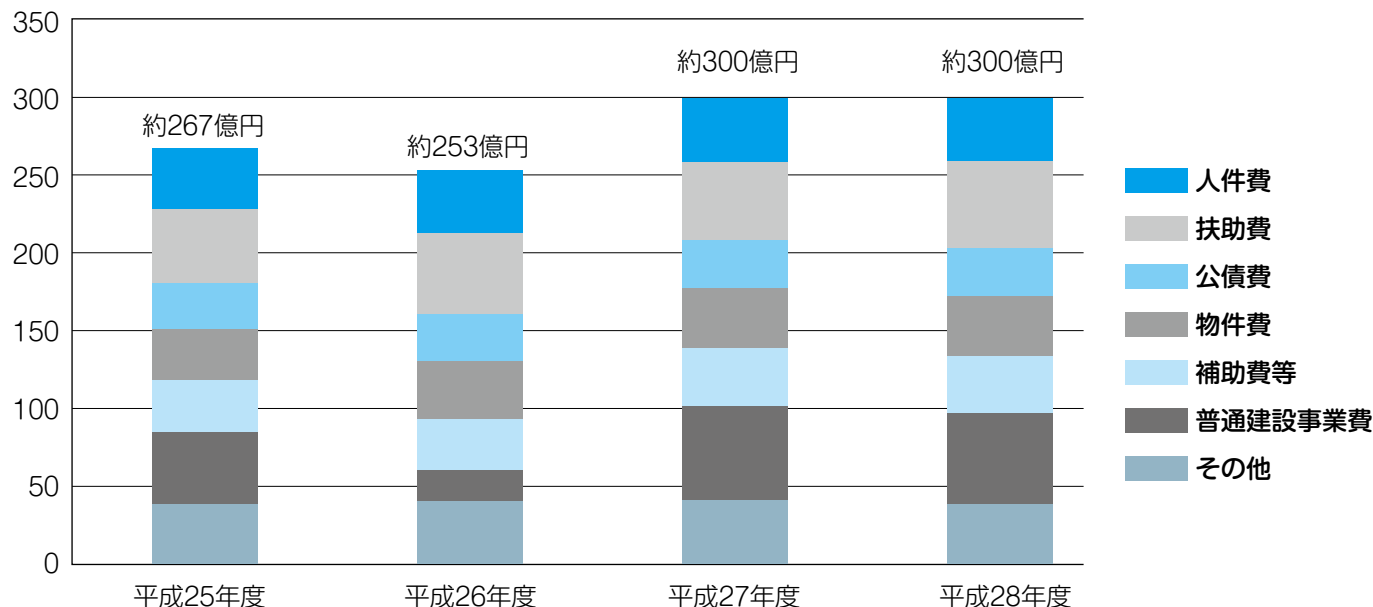
## 歳入

億円



## 歳出 性質別

億円



# 平成28年度の主な事業



©木津川市

木津川市制発足10周年の節目の年である平成28年度においては、これまで取り組んできたクリーンセンター整備事業や義務教育施設の耐震化などの大型継続事業の完了に向けて取り組むとともに、まち・ひと・しごと創生総合戦略や、臨時福祉給付金の給付事務などの国の施策への対応のほか、子育て支援施策の充実や教育環境の整備などを積極的に推進しました。それでは、平成28年度の主な成果を紹介します。

## まち・ひと・しごと創生総合戦略にかかる事業

### ■まち・ひと・しごと創生総合戦略事業 8,716万円

「地方版総合戦略」に位置付けられた、地方公共団体の自主的・主体的な取り組みで、先導的なものを支援するため国において創設された、地方創生加速化交付金および地方創生推進交付金を活用し、木津川市では次の事業を実施しました。

- **相楽圏域におけるインバウンド観光事業**…関西本線車両の「山城列茶」ラッピングの委託をはじめ、観光PRを目的とした台湾での「台感！ニッポン。」への出展にかかる負担金を支出するとともに、京都南山城古寺巡礼秘宝バスツアーの開催に対して、ふるさと応援事業補助金を交付しました。
- **お茶の京都DMO地域活性化推進事業**…お茶の京都DMOの設立準備や、上狛茶問屋街の賑わい創出、「キヅガワゴン」の製作・活用などを行いました。
- **木津川市ふれあい魅力発掘・向上・発信事業**…「木津川アート2016」の開催や、「みもろつく里山学校2016」の開校をはじめ、地域農業の振興等を図るため「農(みのり)で頑張る協議会」を立ち上げ、「木津川市フェア」の開催などを行いました。さらに、婚活事業やキチキチプロジェクトなどに対して、ふるさと応援事業補助金を交付しました。
- **けいはんな学研都市の都市ブランド醸成による定住促進事業**…学研都市における企業の新事業への進出や事業拡大を支援するとともに、研究・実証成果などの事業化や産業集積の推進などを行いました。
- **「健康きづがわ」推進プロジェクト**…きづがわスマートウエルネスシティプロジェクトの一環として、市の健康課題等の分析や将来予測、分析結果をもとに健康づくりの取組みを推進するため、健康クラウドシステムを導入しました。
- **今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業**…山背古道推進協議会において国籍・世代を問わずPRが可能な観光アプリの開発などを行いました。
- **老若男女総輝き事業**…子育て支援施策の内容が見やすい市HPとするため子育て支援サイトを開設するとともに、イングリッシュカフェやお茶教室の開催などにより、子どもと地域の大人たちとのぬくもりのある交流を促進しました。
- **京野菜・織物リジェネレーション事業**…旧KIOSKを活用した観光情報・魅力発信事業や、京都大学と南陽高等学校、地域住民の連携による観光創生事業に対して、ふるさと応援事業補助金を交付しました。



「山城列茶」ラッピング



「みもろつく里山学校2016」の様子

## 個性を活かした魅力ある地域文化の創造

### ■遺跡の調査 224万円

鹿背山城跡の国史跡指定に向け、遺物や古文書の写真撮影、城跡の航空写真撮影、発掘調査成果の整理作業を行いました。

### ■高麗寺跡の整備 1,995万円

高麗寺跡中心部整備5か年計画の1年目事業として、講堂跡と回廊の立体表示および金堂跡復元整備(部分)を目的とした史跡整備工事を行いました。

### ■史跡恭仁宮跡案内看板の設置 56万円

山城国分寺塔跡およびくにのみや学習館に史跡案内の看板を設置し、史跡恭仁宮跡の一層の周知・広報に努めました。

## 地域力を活かした産業・事業の創造

### ■企業誘致など 3,839万円

市内産業用地への企業立地を促進するため、企業誘致活動を積極的に展開するとともに、新産業創出交流センターを通して、環境やエネルギー、医療分野への研究を支援しました。

## ■商工会への支援 3,718万円

商工業の総合的な改善発展および地域住民の利益を図り、地域経済社会の発展と安定化に寄与するため、木津川市商工会に対して、運営補助やプレミアム商品券発行事業の支援などを行いました。また、商工会青年部主催の市制10周年記念イベント「日本一フェスタ」開催に対する補助を行いました。



## 誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造

### ■備蓄食糧、避難所用資機材等の整備 422万円

災害時に備えて、食糧やトイレ、ストーブなど避難所開設時に必要な資機材を購入しました。

### ■防災行政無線整備事業 2億5,540万円

防災関連情報などを迅速かつ確実に伝達することを目的に、全市域にデジタル方式同報系防災行政無線を整備するための工事を行い、複数年にわたる整備計画が完了しました。

### ■カーブミラー・防犯カメラの新設等 917万円

カーブミラーの新設や修繕などによる交通安全施設の整備を進めるとともに、近鉄山田川駅の自転車駐輪場に防犯カメラを新設し、盗難等の発生抑制を図りました。

### ■木造住宅の耐震診断・耐震改修支援 445万円

地震に強いまちづくり推進のため、昭和56年5月31日までに建築された木造住宅に対する耐震診断士の派遣や、耐震改修費用の補助を行いました。

また、市内の地域活性化を図るため、木津川市内の業者によって耐震改修が行われた場合に、市独自の上乗せ補助を行いました。

### ■市道の舗装修繕 3,171万円

舗装修繕計画に基づき、緊急性の高い市道の舗装修繕工事（4か所）を行いました。

### ■橋りょう点検修繕調査 4,433万円

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうおよび跨線橋の点検（21橋）や補修工事（1橋）を行いました。

### ■内水対策 5,013万円

木津川増水時による浸水被害のさらなる軽減を目的として、排水ポンプ車およびポンプユニットを追加購入しました。

### ■災害に強い森づくり事業 485万円

山城町綺田地内の既存治山ダム等の堆積土砂を除去しました。

### ■ため池の調査点検等 732万円

ため池の安全性や管理状態を把握するため、防災重点ため池選定（82か所）とため池点検（39か所）を実施しました。

### ■低所得の高齢者向け臨時福祉給付金の給付 1億1,361万円

1億総活躍社会の実現に向け、賃金引上げの恩恵が及ぶにくい、低所得の高齢者を対象として、臨時給付金30,000円を3,571人に支給しました。

### ■臨時福祉給付金及び年金生活者等支援臨時福祉給付金の給付 3,709万円

消費税率の引上げに伴い、前年度に引き続き、市民税均等割が課税されていない方を対象として、臨時福祉給付金3,000円を6,111人に支給しました。

また、平成28年度臨時福祉給付金の支給該当者のうち、賃金引上げの恩恵が及ぶにくい、低所得の障害・遺族基礎年金受給者を対象として、臨時給付金30,000円を216人に支給しました。

### ■福祉医療費の助成 6億6,620万円

中学校3年生までの子どもや、重度心身障害児（者）、ひとり親家庭の親および児童、満65歳以上70歳未満の方などに対し、安心して医療を受けられるよう、医療費のうち自己負担部分に対し助成を行いました。

### ■生活困窮者自立支援事業 799万円

平成27年度に施行された生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者に対して自立相談支援や住居確保給付金の給付をはじめ、子どもの学習支援などを行い、自立した生活ができるよう支援しました。

### ■生活保護費の支給 8億6,715万円

生活に困っている方々が、健康的で文化的な最低限度の生活ができるよう経済的援助を行うとともに、自立した生活ができるよう支援しました。平成28年度末現在の被保護世帯は、390世帯・629人でした。



「日本一フェスタ」における日本一大きいライスバーガー作りの様子



### ■介護ロボット等導入支援事業 390万円

介護従事者の負担軽減を図るため、介護保険施設や事業所における介護ロボット導入費用の補助を行いました。

### ■総合がん検診 1億2,051万円

がんの早期発見・早期治療を目的とした各種がん検診を行いました。

### ■予防接種 2億416万円

乳幼児、学童、高齢者を対象とした各種の予防接種事業を行うとともに、風しんの拡散防止と先天性風しん症候群の発生を防止するため、京都府制度を活用し、風しん予防接種の助成を行いました。

### ■健康増進計画の見直し 213万円

平成23年度に策定した「すこやか木津川21プラン」について、平成27年度に実施した住民アンケートの分析などにより、中間評価と目標値の見直しを行いました。

### ■市営墓地の開設 6,192万円

新たに市営墓地「思いでの丘霊園」を開設するための、敷地造成等整備工事や使用者の募集などを行いました。

### ■南加茂台小学校通学バスの購入 594万円

当尾地域から南加茂台小学校への児童の通学のため、マイクロバスを購入しました。なお、このバスは校外学習等にも活用することで、効率的な運用を行います。

### ■小学校通学路への防犯カメラ設置 904万円

子どもたちの見守りと安全確保を目的とし、前年度に引き続き、各小学校の通学路への防犯カメラを設置（平成28年度は30台）し、市内の全小学校区への防犯カメラ設置が完了しました。

### ■児童福祉施設・教育施設の耐震化等 4億4,610万円

恭仁小学校における校舎の耐震補強工事をはじめ、前年度に新校舎が完成した棚倉小学校における旧校舎の解体や跡地整備などを、また上狛小学校においては耐震性の低い北校舎の改築を行い、新校舎が完成しました。新校舎の図室内には、豊かな森を育てる府民税市町村交付金を活用し、府内産木材製の作業台等を設置しました。

さらに、非構造部材耐震対策として、保育所・児童クラブ・児童館において、蛍光灯飛散防止カバーを設置しました。また幼稚園・小中学校においては、照明器具や放送機器、職員室書棚、ロッカー等の転倒防止対策を行いました。



上狛小学校新校舎の図工室

平成28年度の重点事業として、「認知症カフェ」開催などによる認知症の早期発見・早期対応できる環境づくり(59万円)や、介護予防の担い手となる介護予防サポーターの養成(77万円)を行いました。



©木津川市

## 豊かな心を育む教育・文化の創造

### ■ファミリー・サポート・センター 241万円

育児の援助を受けたい方と育児の援助を行いたい方との会員相互の運営によるファミリー・サポート・センター事業を実施し、地域における支え合いの子育て機能の充実を図りました。

### ■病児・病後児保育 117万円

病児・病後児保育事業を学研都市病院に委託して実施しました。あわせて、法改正により、対象児童の上限を小学校3年生までのところを小学校6年生までに拡大し、保育サービスの充実を図りました。

### ■不妊治療給付 586万円

不妊治療等を受けている夫婦に対し、経済的負担の軽減を図るため、治療費の一部助成を行いました。

### ■保育コンシェルジュの配置 128万円

平成28年7月からこども宝課内に保育コンシェルジュを配置するため、カウンターデスクやベビーベッドなどの備品を購入し、市民が各種子育て支援制度を円滑に利用できるような環境づくりを進めました。

### ■民間保育所への入所委託 9億7,060万円

市内民間保育所7園に、児童の入所委託を行いました。

### 保育コンシェルジュとは？

市役所本庁舎1階のこども宝課の窓口で、保育施設や地域の子育て支援など、妊娠中から育児まで子育てに関わるみなさんの相談に応じています。

面談、電話、メール、都合の良い方法でお気軽にお問い合わせください。市HPから面談の予約の空き状況を確認いただくこともできます。

### ■幼保連携型認定こども園施設整備への補助 2億7,588万円

社会福祉法人が木津川台地域に整備した幼保連携型認定こども園に対し、施設整備のための補助金を交付しました。



平成29年4月開園の幼保連携型認定こども園

### ■第3子以降保育料・幼稚園使用料無償化 1億341万円

第3子以降の保育料および幼稚園使用料を無償化するなど、多子世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てをできる環境づくりを推進しました。

### ■放課後児童クラブ 2億3,247万円

共働きなどの留守家庭の小学生に対して放課後に遊びや生活の場を提供することで、児童の健全育成を図りました。

また、上狛・棚倉の児童クラブ施設の老朽化に伴い、施設の整備を行いました。

### ■学校図書館の情報化・活性化の推進 603万円

小中学校の児童生徒の読書離れ解消、図書に対する親しみ向上を目的とし、学校図書館システムを運用するとともに、木津川市子どもの読書活動推進計画を改訂しました。

### ■ICT教育の推進 3,452万円

よりわかりやすい授業、子どもたちの学習への興味や関心を高める授業を効果的に実施することを目的として、電子黒板やデジタル教材等の導入を進めています。平成28年度にすべての市立小中学校への導入が完了しました。

### ■スクールカウンセラーの配置 352万円

京都府からのスクールカウンセラー未設置の8小学校に、悩みを持つ児童の不安を和らげ、充実した学校生活を送れるよう、前年度に引き続き、市費により専門知識を持った臨床心理士を配置したほか、平成28年度から5週に1回の配置を4週に1回に拡大し、相談しやすい環境づくりを進めました。

### ■カウンセリングルームの設置 304万円

中央図書館における臨床心理士による相談を週1回から週2回に拡大し、心身ともに健全な児童生徒の育成を進めました。

### ■木津小学校・加茂小学校の校舎等改修 9,987万円

木津小学校において、漏水が発生していた屋内消火栓設備の改修と、経年劣化した受水槽の更新を行いました。また、加茂小学校では校舎等の防水等改修工事を行いました。

### ■木津南中学校校舎の取得 1億2,391万円

都市再生機構の立替施行により施設を整備した、木津南中学校校舎について、国庫支出金の交付を受け、都市再生機構に対し償還金を支払いました。

### ■ふるさと学習の実施 37万円

市内全小学校において、自分たちの地域についての理解を深めることによる、本市の魅力発見と再認識を目的としたふるさと学習を実施しました。

### ■京のまなび教室推進事業 260万円

小学校区単位で、放課後や土・日曜日における子どもの活動を支援するため、遊び・学習活動のコーディネートなどを行いました。また、木津川市子ども・子育て支援事業計画に基づいた、一体型の放課後児童クラブおよび放課後子ども教室を、平成28年度は南加茂台小学校と木津小学校において開設しました。

### ■(仮称)新学校給食センターの用地取得等 1億4,134万円

新たな学校給食センターの建設のため、用地取得を行うとともに、ボーリングによる地質調査などを行いました。

この他にも、小中学校において、トイレ洋式化工事(1,400万円)や、図書室へのエアコン設置(6,089万円)を行いました。



©木津川市

## 連携を強め地域を支えるネットワークの創造

### ■JR奈良線高速化・複線化に向けて 4,368万円

JR奈良線高速化・複線化第二期事業にかかる設計、京都駅ホーム拡幅工事などの実施に対する負担金を支出しました。

### ■コミュニティバスの運行 5,201万円

交通空白地域の解消を目的としてコミュニティバスを運行しました。

### ■生活幹線道路の整備 3,190万円

市道加2-15号線や木津中ノ川線などの道路改良、木津川台駅前整備のための測量など生活幹線道路の整備を行い、安心・安全な通行の確保を図りました。

### ■東中央線の整備 1億8,734万円

城山台地域と国道163号を結ぶ東中央線整備事業(京都府施行)に対する負担金の支払いを行うとともに、鹿背山地域において関連事業を実施しました。

### ■市の玄関口・JR木津駅前地区の整備と商業施設の誘致 456万円

JR木津駅前への商業施設誘致に伴い、木津駅西側の自転車駐輪場の移設工事をはじめ、駅前地区の整備を行いました。

## 環境と調和した持続可能なまちの創造

### ■公共施設照明のLED化 80万円

老人憩の家、加茂保健センター、山城図書館の照明のLED化を行い、より一層の省エネに努めました。

### ■木津北地区保全推進事業 1億6,142万円

学研木津北地区の里地里山の維持保全を図るため、地域連携保全活動応援団の支援や駐車場の整備工事などを行いました。

### ■クリーンセンターの建設に向けて 30億4,231万円

クリーンセンターの建設に向けて施設整備工事を進めるとともに、木津川の水質調査などを行いました。

### ■ごみの処理 10億5,601万円

燃やすごみの焼却処理にかかる相楽郡西部塵埃処理組合への負担金をはじめ、ごみの収集運搬、燃やさないごみの中間処理などに要した経費です。

### ■ごみの減量化促進とリサイクル活動 1,348万円

資源の有効利用を促進するため、古紙回収活動や家庭用生ごみ処理機、雨水タンクなどの購入に対して補助を行いました。

また、貴金属やレアメタルなどを資源として有効活用するため、使用済小型家電の回収を行いました。

## まちづくりへの参画と協働の創造

### ■市制10周年記念事業 320万円

平成29年3月12日に山城総合文化センターにおいて「木津川市制施行10周年記念式典」を開催し、市民のさらなる郷土愛を育み、市内外へ向けて木津川市をアピールしました。

また、この式典に合わせて、平成11年から中学生海外ホームステイ事業で交流のあったアメリカ合衆国カリフォルニア州のサンタモニカ市と友好都市盟約を締結し、披露しました。



サンタモニカ市との友好都市盟約締結

市制10周年記念式典では、少年少女合唱団によるオープニングセレモニーをはじめ、名誉市民や自治功労者等への表彰、木津高等学校・南陽高等学校吹奏楽部による記念合同演奏、石黒由美子さんによる記念講演などが行われました。



©木津川市



市制10周年記念式典の様子

### ■議会中継のマルチ配信 250万円

議会インターネット中継について、平成28年6月からスマートフォンなどからでも視聴できるようにマルチ配信対応とし、市民により広く、手軽に公開できるようにしました。

### ■コミュニティ助成 910万円

自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業に市内5団体の事業が採択され、助成金を交付しました。

### ■公共施設等総合管理計画の策定 264万円

財政状況が厳しくなる中、老朽化などの課題を抱える公共施設の長寿命化や有効活用、あり方の適正化を図ることを目的として平成27年度から進めてきた、公共施設等総合管理計画の策定が完了しました。

### ■ふるさと応援の促進 233万円

ふるさと納税を通じて、より多くの方に木津川市を応援いただけるよう、ポータルサイト「ふるさとチョイス」への加入によるインターネット申込およびクレジット納税を導入しました。

# 基金（貯金）の残高

## 平成28年度末現在の 基金残高の状況は？



©木津川市

平成28年度末現在の全会計の基金残高は、次のとおりです。  
 基金とは、条例などに基づいて、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するために設けられたもので、市の貯金と言えます。  
 平成28年度では、全国からいただいた寄附金を積み立てているふるさと応援基金などにおいて年度末残高が増加した一方で、事業の財源として取り崩しを行った、公共施設等整備基金や清掃センター建設整備基金などにおいて年度末残高が減少しました。  
 また、普通交付税合併算定替の特例措置終了対策のため、遞減が始まって1年目となる平成28年度においては、合併算定替遞減対策基金に1億3,500万円を積み立てました。

(年度末残高)

(単位：万円)

区 分	基金の設置目的	平成28年度	平成27年度
財政調整基金	年度間の財源の調整を行うために財源を積み立てるための基金	405,558	441,694
減債基金	市債の償還に関する財源を確保し、健全な財政運営を図るための基金	30,845	26,267
公共施設等整備基金	公共施設などの整備の円滑化と促進を図るための基金	369,522	419,071
準財産区等事業基金	財産区財産に準ずる財産の処分金を積み立てるための基金	3,147	2,987
地域福祉基金	地域における福祉及び保健に関する事業の推進を図るための基金	59,606	59,591
農業振興関係基金	農業の振興を円滑に進めるための基金	1,070	1,088
土地改良事業基金	土地改良事業に充てるための基金	6,847	6,847
山城町森林公園施設整備基金	森林公園の管理の向上及び施設充実を図るための基金	1,468	1,388
育英資金交付基金	育英資金の交付に関する事務を円滑かつ効率的に行うための基金	1,412	1,833
ふるさと応援基金	木津川市応援のためにいただいた寄附金を積み立てるための基金	2,075	1,006
清掃センター建設整備基金	クリーンセンターの建設整備の円滑化と促進を図るための基金	99,718	114,435
学研木津北地区里地里山保全基金	学研木津北地区の里地里山保全事業を円滑かつ効率的に行うための基金	18,115	18,314
合併算定替遞減対策基金	平成28年度からの普通交付税合併算定替特例措置の段階的縮小に備えるための基金	116,476	102,976
国民健康保険特別会計財政調整基金	国民健康保険特別会計の健全な財政運営を図るための基金	0	0
国民健康保険出産費貸付基金	国民健康保険被保険者への出産費用の貸付のための基金	302	302
介護保険給付費準備基金	介護保険給付などの財源の不足が生じたときの財源を積み立てるための基金	41,756	41,756
簡易水道特別会計財政調整基金	簡易水道事業の健全運営を図るための基金	0	531
公共下水道事業財政調整基金	公共下水道事業を円滑に執行するための基金	3,324	5,098
水道事業財政調整基金	水道事業の拡張及び料金調整を円滑に執行するための基金	230,041	182,422
合 計		1,391,282	1,427,606

(年度末残高)

(単位：万円)

区 分	基金の設置目的	種 類	平成28年度	平成27年度
土地開発基金	公用もしくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要のある土地をあらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図るための定額運用基金	現 金	672	15,603
		土 地	175,057	143,808
		貸付金	0	9,035
		合 計	175,729	168,446

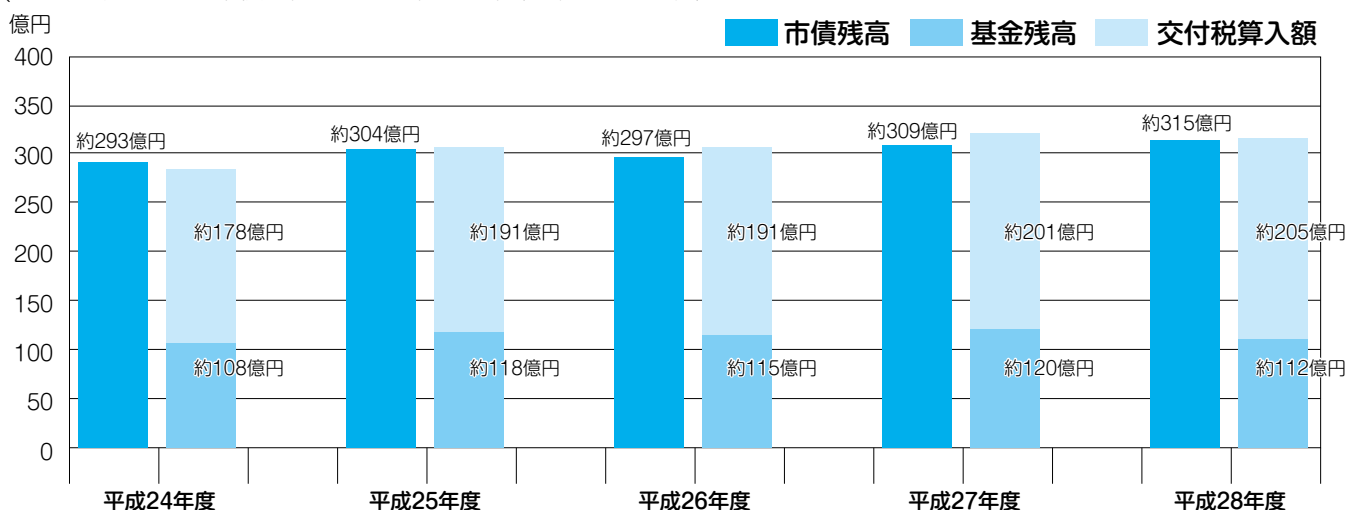
# 市債（借金）の残高

市債とは、木津川市が行う施設整備などで一時期に多額のお金が必要となる場合、国や銀行などから資金を借り入れて調達するものです。調達した後は一定の約束のもとに返済する義務を負うことになります。

例えば、学校建設のように将来長い間にわたって効果を生ずるものがありますが、そのような施設を建設するのに、現在の住民だけが一切の負担を負うのは不合理であることから、あえて将来の人にも負担してもらうような財源調達の方法として市債を考えることができます。

しかし、無秩序に市債を発行してしまうと将来の人に大きな負担を押し付け、いずれは市の財政が破たんする可能性があります。このことから、市債の発行には、地方自治法や地方財政法などによる制限があります。

（一般会計における市債残高・基金残高・交付税算入額の推移）



平成28年度に発行した主な市債は、クリーンセンター整備事業のために10億9,440万円、臨時財政対策債9億2,893万円、防災行政無線整備事業のために2億5,220万円、東中央線整備事業のために1億6,930万円となっています。

学校の建設や道路の整備、市町村合併関係事業など国が推進する事業を実施するための市債には、償還費の一部を国が地方交付税で負担してくれるものもあります。この制度を活用すれば、実質的に木津川市が償還していく市債が減ることになりますので、有効に活用して事業を進めています。平成28年度決算における一般会計の市債残高に対する実質的な借金としては、市債残高約315億円から交付税算入額約205億円を差し引いた約110億円となっています。



©木津川市

# 債務負担行為の残高

債務負担行為とは、契約などにより将来の支出を約束する行為のことです。木津川市の主な債務負担行為は、学研都市開発の一環として、都市再生機構に建設してもらった学校などの建設費の立替金などです。

債務負担行為を上手に活用すれば、大きな公共事業の費用を複数年に分割して支払いすることができ、財政運営面では有利ですが、このような方法に頼りすぎると将来の人に負担を押し付けることにもなります。

（一般会計の債務負担行為のうち公債費に準ずるものの年度末残高）

（単位：万円）

区分	債務負担行為の目的	平成28年度	平成27年度
独立行政法人都市再生機構	都市再生機構に支払う学校などの建設費	303,658	334,949
学研都市京都土地開発公社	土地開発公社で先行取得した土地の費用	0	47,175
社会福祉法人	施設建設費にかかる補助	6,689	8,514
合計		310,347	390,638

# 健全化判断比率の状況

地方公共団体の財政の健全化に関する法律により、すべての市町村で財政の健全度を示す健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率、資金不足比率という5つの指標）を算定し公表することが義務づけられています。

健全化判断比率の5つの指標には、それぞれに信号でいうところの黄信号である早期健全化基準と赤信号である財政再生基準が設けられています。

算定した健全化判断比率の5つの指標のうち1つでも早期健全化基準を超えると自主的な財政再建に向け、財政健全化計画の策定が求められるなど財政運営上、注意が必要な団体とされます。これが財政健全化団体です。

健全化判断比率には、市町村が加入する一部事務組合や地方公社なども連結して算定する指標もあるため、木津川市全体の財政状況を示すものと言えます。

← 実質赤字比率				
← 連結実質赤字比率				
← 実質公債費比率				
← 将来負担比率				
← 資金不足比率				
【木津川市】		【一部事務組合・広域連合】		【地方公社等】
一般会計	国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、駐車場整備事業 <b>公営事業会計</b>	公共下水道事業特別会計、簡易水道事業特別会計、水道事業会計 <b>公営企業会計</b>	国民健康保険山城病院組合、相楽中部消防組合、相楽郡広域事務組合、相楽郡西部塵埃処理組合、京都市市町村職員退職手当組合、京都市市町村議会議員公務災害補償等組合、京都府自治会館管理組合、京都府住宅新築資金等貸付事業管理組合、京都府後期高齢者医療広域連合、京都地方税機構	学研都市京都土地開発公社

(注意) 1 資金不足比率は、公営企業会計ごとに算定します。

2 地方公社等のうち学研都市京都土地開発公社以外は、将来負担比率を算定するうえでの対象となっていません。

(単位：%)

区 分	平成28年度決算による健全化判断比率			平成27年度決算による健全化判断比率	備 考
	早期健全化基準	財政再生基準			
実質赤字比率	—	12.66	20.00	—	
連結実質赤字比率	—	17.66	30.00	—	
実質公債費比率(3か年平均)	11.0	25.0	35.0	11.6	前年度より改善
将来負担比率	48.9	350.0		53.6	前年度より改善
資金不足比率(公営企業会計)	—	(経営健全化基準)20.0		—	

(注意) 1 実質赤字比率と連結実質赤字比率は、実質収支額が黒字の場合に、資金不足比率は、資金不足が生じない場合には、「—」で表示されます。

2 将来負担比率および資金不足比率の悪化は、直ちに当該年度の財政運営上の問題とはならないため、財政再生基準は設けられていません。



©木津川市

平成28年度決算による実質公債費比率は、前年度の比率と比較して0.6ポイント改善、将来負担比率は、前年度の比率と比較して4.7ポイント改善しています。また、一般会計および公営企業会計において、実質赤字、資金不足は発生していません。国民健康保険特別会計においては、前年度に赤字が発生しましたが、本年度は黒字に好転し、連結実質赤字は発生しませんでした。

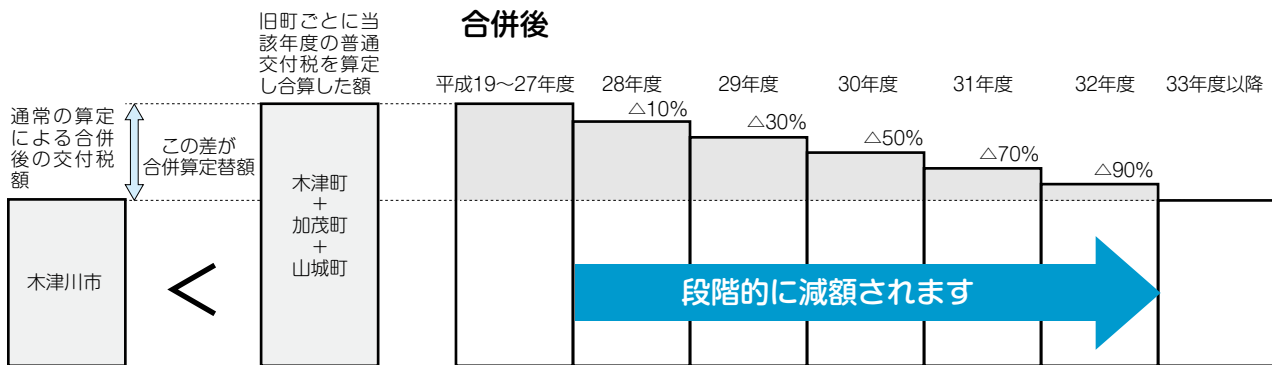
各比率が早期健全化基準を下回っていますので、木津川市の財政は、とりあえず安心できる状態にあります。

しかし、普通交付税における合併算定替の措置が数年後に終了すること、大型事業実施に伴う公債費負担が大きくなることなどが予想されること、扶助費などの歳出が増加傾向にあることなどを考え合わせると、健全な状態を将来も維持できるとは限りません。したがって、木津川市では今後もさらなる行財政改革に取り組む必要があります。

## 普通交付税合併算定替とは？

旧町ごとに算定した普通交付税の合計額と新市として算定した額を毎年度比較して、大きい方の額をその年度の新市の普通交付税額とする制度です。

木津川市では、この制度が最大で合併後14年間適用されます。ただし、合併から10年目以降は合併算定替額が一定率減額されます。平成28年度は、この合併算定替額特別措置の逡減が始まる1年目にあたり、普通交付税と臨時財政対策債（国の地方交付税原資不足を補うために発行する借金）の合計額から、約7,400万円が減額されました。



参考(その他の財政指標)

区分	平成28年度	平成27年度	備考
標準財政規模(万円)	1,680,563	1,664,149	
財政力指数(3か年平均)	0.655	0.652	前年度よりやや改善
経常収支比率(%)	97.8	96.1	前年度より悪化

## 都市計画税に関する事業

都市計画税は、市街化区域内にある土地や家屋に対して課税する税金で、都市計画事業（道路、公園、下水道などの施設整備や市街地開発）や土地区画整理事業に要する費用に使われるものです。税率は上限0.3%ですが、木津川市では0.15%としています。

平成28年度決算で都市計画税に関する事業は、次のとおりです。

市民のみなさんから納めていただいた都市計画税4億1,068万円は、一般財源10億1,890万円に含め、活用させていただきました。



©木津川市

(単位：万円)

事業の内訳	歳出額
地区計画道路整備事業	25
東中央線整備事業	18,519
公共下水道事業特別会計繰出事業	84,199
都市計画事業に充当した市債の償還金	26,077
<b>歳出合計</b>	<b>128,820</b>

(単位：万円)

財源の内訳	歳入額
市債	16,930
その他	10,000
一般財源	101,890
<b>歳入合計</b>	<b>128,820</b>

ナント・なら・ずっと！  
**南都銀行**  
 木津支店・上狛支店・加茂支店  
 ガーデンモール出張所

暮らしに「ゆとり」と「安心」を  
**京銀カードローンW**  
 お客さまの急なご資金のご入用時に  
 お役に立てるカードローンです！  
※本商品は個人のお客さまが対象です。  
 ご契約時には当行所定の審査がございます。  
 飾らない銀行 木津支店  
**京都銀行** TEL.0774(72)2211

食と地域のパートナー  
**JA 京都やましろ**  
 木津支店 TEL:0774-72-1771  
 山城支店 TEL:0774-86-2276  
 加茂支店 TEL:0774-76-2063

# 市民ひとりあたりの決算額

平成28年度決算を一般家庭の生活費に例えて紹介します。



©木津川市

平成28年度の一般会計決算額を市民ひとりあたりにすると、約40万円のお金を使ったこととなります。

わが家では、給与が約25万円でしたが、支出は約40万円でした。

そこで、親から約9万円の仕送りを受けて、さらにローン約4万円を借り入れましたが、まだ不足する約2万円は貯金を引き出してやりくりしました。

家計の収入のうち最も大きな割合を占める市税について、税目ごとに市民ひとりあたりの収入をまとめると、左下の表のとおりとなりました。主に市民税や固定資産税の増により、前年度に比べて、市民ひとりあたりの収入は約2千円増加しています。

(単位：円)

市民ひとりあたりの収入 (歳入)	平成28年度	平成27年度
給与 (市税、各種譲与税、交付金など)	248,532	247,626
親からの仕送り (国庫・府支出金など)	85,386	95,591
ローンの借入 (市債)	43,071	49,829
貯金からの引出し (繰入金・繰越金)	25,566	17,032
合 計	402,555	410,078

(単位：円)

市民ひとりあたりの支出 (歳出)	平成28年度	平成27年度
食費 (人件費)	55,023	56,285
医療費、学費など (扶助費)	73,563	69,742
光熱水費、日用品費 (物件費)	51,592	51,686
子どもへの仕送り (繰出金)	40,018	37,197
家の修繕・増改築費 (普通建設事業費など)	81,633	85,091
ローンの返済 (公債費)	39,413	37,824
町内会費、サークル活動など (補助費等)	48,429	50,391
貯金 (積立金など)	6,773	13,787
合 計	396,444	402,003

(単位：円)

市民ひとりあたりの市税	平成28年度	平成27年度
市民税(個人)	52,648	53,085
市民税(法人)	5,994	5,252
固定資産税	55,992	54,314
軽自動車税	1,803	1,531
市たばこ税	4,196	4,438
都市計画税	5,436	5,227
合 計	126,069	123,847

平成29年3月31日現在の木津川市全人口 75,555人

平成28年3月31日現在の木津川市全人口 74,561人

※金額は、平成28年度と平成27年度の決算額を各年度末人口で割ったものです。なお、平成28年度決算額は、地方財政状況調査において調査対象とならないものを除いているため、一般会計歳入歳出決算額と一致しません。

一緒にうれしい  
**On Your Side**

みなさまのすぐとなりに京都中央信用金庫がいます。

**京都中央信用金庫**

木津支店 ☎0774(72)5151	加茂町支店 ☎0774(76)2345
棚倉出張所 ☎0774(86)3939	山田川支店 ☎0774(72)7111

＼なんでも相談してください。／

三井住友銀行グループ  
**関西アーバン銀行 木津支店**  
木津川市木津駅前1丁目1番  
TEL(0774)72-0621

## 平成28年度木津川市決算のあらまし

発行 平成29年12月  
木津川市役所 総務部 財政課  
住所 木津川市木津南垣外110番地9  
電話番号 0774-72-0501 (代表)  
0774-75-1202 (直通)  
F A X 0774-72-3900 (代表)  
ホームページ <http://www.city.kizugawa.lg.jp>  
E-mail [zaisei@city.kizugawa.lg.jp](mailto:zaisei@city.kizugawa.lg.jp)